

今号の内容

欧州で大型洋上風力発電所が相次ぎ稼働 P.1

EU の乗用車 CO2 排出量、2009 年に大幅低下 P.2

EBS ドバイ支社設立のお知らせ P.3

EBS 企業概要 P.3



欧州で大型洋上風力発電所が相次ぎ稼働

欧州で大規模な洋上風力発電所の完成が相次いでいる。9月に英国南東部沖で、発電容量 300MW の世界最大の発電所が正式稼働したのに加え、10月にはデンマーク沖で同 207MW の大型施設が完成した。さらに建設、計画中のプロジェクトが多数あり、今後も英国とドイツを中心に再生可能エネルギー発電の柱として洋上風力発電が成長しそうだ。

英国では世界最大の 300MW

英国で完成した世界最大の洋上風力発電所は「サネット (Thanet)」で、スウェーデンのエネルギー大手バッテンフォールが 7 億 8,000 万ポンドをかけて建設した。英国南東部ケント州沖 12 キロの海域に位置し、デンマークのベスタス製の風力タービン 100 基で構成される。約 20 万世帯分の電力を供給できるという。

現場で 9 月 23 日に開かれたオープニングセレモニーには英国政府のヒューン・エネルギー・気候変動相も出席、「島国である英国は、洋上風力、波力・潮力など海洋エネルギー資源を積極的に利用すべき」と述べ、再生可能エネルギーの一つとして洋上・海洋エネルギーを重視する方針を改めて示した。

英国沿岸ではこれに加え、今春、やはり南東部沖で発電容量 172MW の「ガンフリート・サンズ (Gunfleet Sands)」がフル稼働した。デンマークのエネルギー大手 DONG エナジーが建設した発電所で、出力 3.6MW の風力タービン 48 基から成る。英国北部のスコットランド沖でも 4 月に、「ロビン・リグ (Robin Rigg)」(発電容量 180MW) がフル運転に入った。

ドイツ初の大型施設が完成

ドイツは陸上風力の設置容量では欧州トップを走るが、洋上風力では英国の後塵を拝してきた。そのドイツで初の大型洋上風力発電所が 4 月に本格稼働した「アルファ・ベントス (Alpha ventus)」だ。発電容量は 60MW で、ドイツの電力大手 EWE、エーオンおよびバッテンフォールの 3 社が共同で建設した。発電容量は英国のプロジェクトに比べまだ小規模だが、ドイツ北方のバルト海や北海で、多数の大型プロジェクトが計画されている。

業界団体である欧州風力エネルギー協会 (EWEA) のまとめによれば、今年上半期に欧州連合加盟国の洋上風力発電の新設容量 (送電網への接続完了分) は 333MW に達した。国別では英国が 188MW で最も大きく、デンマーク 115MW、ドイツ 30MW が続いた。これに加え、設置されたが送電網に未接続のタービンが 6 月末時点で合計 440MW ある。今年、昨年実績 (577MW) を上回り、洋上風力の新設容量が過去最高となるのは確実な情勢だ。



イメージ図 (アルファ・ベントス Web サイトより)

EU の乗用車 CO2 排出量、2009 年に大幅低下

EU で乗用車を販売する各社の二酸化炭素 (CO2) の平均排出量が急速に減っていることが、欧州の環境団体トランスポート&エンバイロメント (T&E) が 2010 年 11 月に発表した 2009 年の各社実績で明らかになった。EU 全体では前年比 5.1%減となり、かつてないスピードを記録している。

トヨタは目標値達成がほぼ確実に

EU では 2009 年 6 月に CO2 排出量に対する法規制が導入されたが、自動車メーカーは「目標達成は困難」と反発し、規制が全面的に施行される 2015 年には罰金を科せられるメーカーが続出するのは必至と見られていた。ところが 2009 年には排出量を大幅に削減したメーカーが多く、中でもトヨタは前年比で 10%も減らして 2015 年に同社に課せられる推定目標値まであと 4%削減すれば達成するところまでこぎつけた (表 1 参照)。1 年間の削減幅ではトヨタに続いてスズキも 9.1%と高い。

EU の規制では、自動車メーカー全体に直接課せられる目標値は平均排出量で 130g/km だ。平均排出量とは EU 域内で販売される全車両の排出量を平均したもので、この平均値を規定値に抑える必要がある。ただし小型車ほど平均排出量が低くなるため、大型車や高級車を数多く抱えるメーカーには不利になることから、各社の目標値は販売する車の平均車両重量によって異なっている。大型車が多いメーカーほど目標値は緩くなるわけだ。表 1 に示した 2015 年の

目標値は 2009 年時点の平均車両重量に基づくもので小型車の販売台数が多くなれば目標値は厳しくなっていく。

小型車販売拡大と環境技術が削減をけん引

規制は 2012 年から段階的に導入され、自動車各社は待ったなしの状況にある。しかも 2007 年までは遅々として削減が進んでいなかった。2009 年に入って大幅に減らせたことについてはいくつかの理由が挙げられている。まず、各国が景気浮揚策の一環として新車買い替え制度を導入して CO2 排出量の少ない車を優遇したため、販売車種が小型車にシフトして平均排出量が引き下げられたというものだ。景気低迷で小型車の販売の割合が増えたという事情もある。しかし欧州自動車工業会 (ACEA) は最大の理由として、消費者の意識が大きく向上したためと指摘する。

一方、T&E は「削減幅の半分は環境技術の進展によるもの」と説明する。もちろん消費者の需要と技術向上が相まって大きく削減したわけだが、T&E は各社によって削減の背景は異なると分析している。環境技術が大きな要因になったのはトヨタを筆頭にスズキ、ダイムラー、マツダ、フォード。これに対して買い替え制度の恩恵が大きかったのは現代とフィアットで、スズキの大幅削減は技術と買い替え制度の両方によるものという。また PSA や BMW などは技術の進展が限られているとの見方だ。

■表: EU の主要自動車メーカーの乗用車 CO² 平均排出量 (2009 年)

(単位: g/km)

順位	メーカーグループ名	08 年順位	2009 年販売台数 (台) ¹	CO2 平均排出量		年間削減率	2015 年目標値 ²	目標値とのかい離
				2009 年	2008 年			
1	フィアット	1	1,212,365	131	138	5.3%	121	8%
2	トヨタ	4	728,805	132	147	10.0%	127	4%
3	PSA	2	1,816,766	136	139	2.7%	129	5%
4	ルノー	3	1,306,604	140	143	1.8%	128	9%
5	現代	5	563,418	141	149	5.4%	129	9%
6	スズキ	10	242,995	142	156	9.1%	121	15%
7	フォード	6	1,437,768	144	152	5.1%	129	11%
8	ホンダ	8	231,789	147	154	4.1%	131	11%
9	GM	7	1,253,692	148	153	3.2%	129	13%
10	マツダ	11	199,299	149	158	5.4%	126	16%
11	BMW	9	681,056	151	154	1.8%	139	8%
12	VW グループ	12	2,973,183	153	159	4.1%	133	13%
13	日産	13	359,037	154	161	4.4%	131	15%
14	ダイムラー	14	666,503	167	175	4.8%	137	18%
合計				145.7	153.5	5.1%	130	11%

注) 1: EU 域内の販売台数

2: 2015 年の平均車両重量が 2009 年時点と同じだったと仮定した場合の推定目標値

出所: Transport & Environment "How clean are Europe's cars? - An analysis of carmaker progress towards EU CO2 targets in 2009"

削減のスピードと目標値との差から見て、現時点で目標達成が厳しいのはダイムラーをはじめ BMW、日産、ゼネラルモーターズ (GM)、ルノーとされる。ただし、こうした各社も電気自動車 (EV) やハイブリッド車の投入を計画しており、残り 5 年間で大きく状況が変わる可能性は高い。目標をクリアできない場合の罰金額は 2019 年以降に厳しくなり、100 万台を販売するメーカーの場合は目標に 2g/km 届かないだけでも総額 2,000 万ユーロ (約 22 億 5,000 円) となる。これを回避するため、環境技術をめぐる各社の提携もこれから本格化しそうだ。

EBS ドバイ支社およびニューデリー支社開設のお知らせ

弊社 EBS (Europa Business Services (UK) Ltd.) は、中東・アフリカ地域をカバーする子会社 Europa Middle East Business Services FZ LLC を 11 月に設立しました。

ドバイの人工島パーム・ジュメイラの付け根周辺に広がる知的産業のフリーゾーン (FZ) の一つ、Dubai Knowledge Village のビジネスセンター内に事務所を開設いたしました。欧州同様に産業・経済リサーチ、パートナーサーチ・ビジネスマッチング、顧客開拓支援などを行って参ります。必要に応じ地場の提携コンサル会社と連携します。

また、12 月下旬には Europa Business Services India Pvt Ltd がニューデリーに設立されます。同様のサービスを提供して参る所存ですので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



■ EBS 産業レポート 最新版 販売中！！

詳細・サンプルは弊社ウェブをご覧頂くか、メールでお問い合わせ下さい。

「欧州自動車産業の最新動向 2010-11 年版—EU のエコカー戦略」

113 頁ページ

本書では EU および主要自動車メーカーなど関連メーカーのエコカーをめぐる動向と戦略を軸に、欧州自動車業界の過去 1 年間の展開と今後の見通しを明らかにする。また、エコカー市場の推移やロシアを含む乗用車・商用車の販売台数統計、メーカーの生産施設の立地などの情報も網羅した。

「欧州の先進環境 100 社—最新市場動向と注目企業の横顔」

110 頁ページ

最新の統計を基に、再生可能エネルギーを軸とする欧州環境市場の過去 1 年の動きと今後の成長予測を紹介。特に成長著しい集光型太陽熱 (CSP)、洋上風力、波力・潮力の 3 分野を取り上げ、成長の原動力を探る。また革新的な技術開発や新たなサービスを展開している欧州環境ビジネスを牽引する先進企業 100 社を選び出し、その戦略と最新動向を明らかにする。

「これだけは知っておきたい EU の環境規制 2010-11 年版」

108 頁ページ

EU の環境規制の基礎となる概念・戦略から、現在実施されている主要規制、また今後の規制の協議の動向まで、EU とビジネスを行うにあたり知っておきたい規制の概要と最新動向を分かりやすく解説。

■ 価格 (全税別) PDF 版 £395/€485/¥53,000 (ハードコピー+PDF 版: £480/€590/¥65,000)

EBS の紹介

EBS (ヨーロッパ・ビジネス・サービス) は、1990 年に英国法人として設立された独立系シンクタンクです。創立時より政府機関や企業のための市場調査・コンサルティングや企業化調査・運営事業に携わり、現在では日系企業の欧州関連ビジネスや欧州企業の対日投資発掘調査など、大小多岐に渡るプロジェクトを手掛け、日本・欧州の民間および政府機関より高い評価と信頼を得ています。欧州各国や EU の産業・経済、政策、社会制度等の委託調査に加え、各種産業レポートの制作・販売や、パートナーサーチ・ビジネスマッチング、顧客開拓支援も行っております。スタッフは各国言語を駆使する経験豊かなプロ集団で、日本および欧州の政策やビジネスに精通しています。

また、欧州の環境ビジネスの最新情報をお届けするニュースレター「欧州環境インサイト」(年 4 回)とニュースメール(月 1 回)を無料で発行しております。ぜひ下記のウェブからお申込み下さい。



EUROPA BUSINESS SERVICES

EBS (UK) Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand,
London WC2R 0NT UK
Tel : +44(0)20 7240 4250
Fax : +44(0)20 7240 4238
Email: ebs@ebsukltd.com
Web : www.ebsukltd.com

EBS 東京オフィス : (株)アミット内

〒104-0033
東京都中央区新川 2-1-1
進藤ビル 5F
Tel : 03 6280 4707
Fax : 03 6425 7786

EBS ドバイ支社

Europa Middle East Business Services FZ-LLC
PO Box 502221 Dubai
Block 9 Ground Floor Executive Office 2
Dubai Knowledge Village Business Centre
Dubai, UAE

■ 事業内容

- ・ 政策・産業・市場調査
- ・ 競合調査
- ・ コンサルティング
- ・ 産業レポート出版
- ・ ビジネスマッチング
- ・ 顧客開拓支援

■ 調査実績 (環境関連)

- ・ 環境・地球温暖化政策
- ・ 再生可能エネルギー政策
- ・ 太陽光発電の動向
- ・ 電気自動車動向
- ・ WEEE・RoHS 指令実施状況
- ・ エコデザイン指令
- ・ EU 排出権取引制度と現状
- ・ 省エネルギー対策
- ・ 環境ビジネス 等